

環境省エコチル調査 愛知ユニットセンターとしての取組

代表者 医学研究科 教授 上島通浩

連携・協力者 環境省はじめ地域の医療機関、行政機関など

ポイント 地域の医療機関、行政機関と連携して研究を実施

1. 概要

平成22年度から環境省の委託を受け、「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」の一拠点として、一宮市及び名古屋市北区において調査を実施しています。

2. 活動内容

平成23年1月から26年3月まで、行政及び一宮市、名古屋市北区、周辺地域の産婦人科医療機関の協力を得て、妊娠中の母親を対象に調査参加者を募りました。そして、参加者から産まれたお子様の健康状態を関係機関・団体等と連携し、定期的に確認させていただいています。

- ・小学生までの調査では年2回紙の質問票への回答をお願いしてきましたが、中学生以降の調査ではウェブでの質問票回答に変わりました。また、小学6年生になったお子さまとお母さまには、検査会場にお越しいただき、身体計測や発達検査等の調査にご協力いただき、一部の検査結果をお返して、親子の健康維持に役立てていただいています。

- ・参加者交流イベントを開催し、調査参加者を含む地域住民、関係機関に向け、研究成果や環境保全の大切さをお伝えする広報活動を行っています。

3. 成果

愛知ユニットセンターでは、一宮市、名古屋市北区にお住まいの妊婦5,425名の方から、調査へご協力いただきました。その後、産まれたお子様は、令和7年3月現在、小学校4年生から中学1年生に在籍しています。開始から10年以上経った今も、保護者のご協力の下、5,207名のお子さまの身の回りの環境や生活の仕方、健康状態などについて調査を継続しています。

より良い子育て環境の実現や母子保健医療の向上に役立つ、多くの研究成果が発表されています。このため、環境省は国内有識者による検討会議の報告をふまえ、調査に参加しているお子さまの13歳以降もエコチル調査を継続することになりました。これからは多くのみなさまに長期的に調査へご協力いただくために、どのような工夫が必要か、地域の関係者からご意見をいただきながら調査を進めていきます。



対面調査の様子



交流イベントの様子